

# 東邦車輛製ダンプ架装物解体マニュアル

適用機種 ダンプセミトレーラ	(TE, TF, TL, TU型)	該当ページ …P1～P4
-------------------	-------------------	-----------------

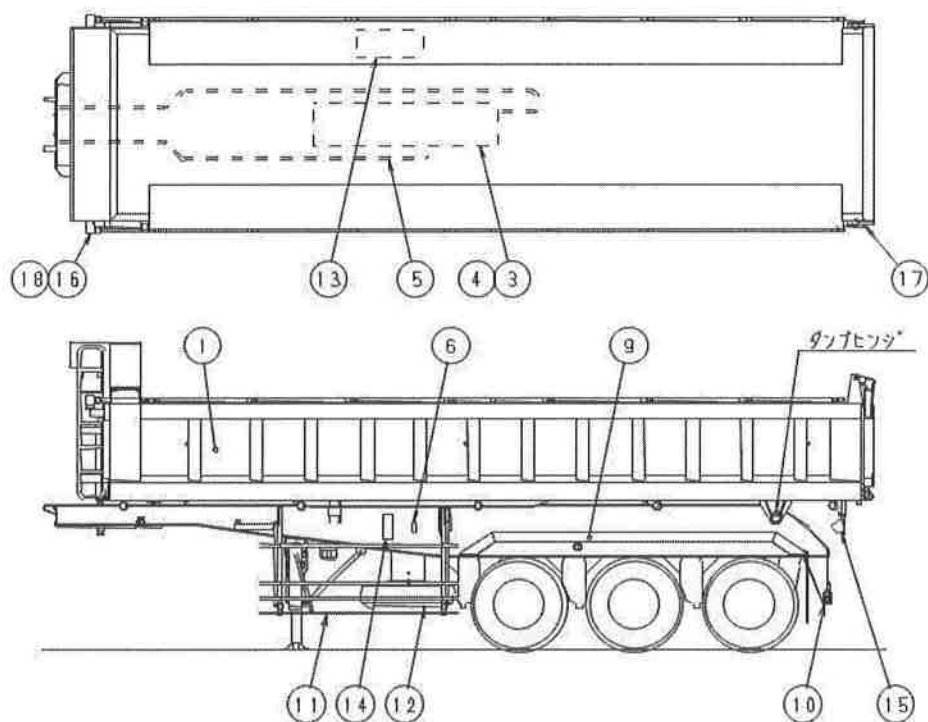
- ・本解体マニュアルは、解体についての指針を示したものであり、本マニュアル通りの解体方法を、強制するものではありません。
- ・本解体マニュアルは一般的な解体例を示し、掲載された図等は実物と異なる場合があります。
- ・ダンプ架装物以外の解体につきましては、東邦車輛製トレーラ解体マニュアルを併せてご確認下さい。

## 内 容

1. ダンプ架装物の構造概要と主要品目表
2. ダンプ架装物の解体マニュアル
3. お問い合わせ窓口

東邦車輛株式会社

## 1. ダンプ架装物の構造概要と主要品目表



注意 1. 上図は一般的なダンプセミトレーラの例を表示しており、トレーラ型式及び仕様により形状などが異なる場合が有ります。

## 主要品目表

品目番号	品目名称	品目番号	品目名称
1	ダンプ荷台	10	リヤバンパー
2	サブフレーム	11	サイドガード
3	ダンプホイスト機構	12	スペアタイヤキャリア
4	油圧機器	13	ツールボックス
5	配管&ゴムホース	14	グリス給脂装置
6	自重計&ホース	15	外装部品
7	ドライブシャフト	16	飛散防止装置
8	サブフレーム固縛用Uボルト等	17	テールゲート等のパッキン
9	リヤフェンダー	18	天蓋

品目番号2、7及び8は使用していません。

## 2. ダンプ架装物の解体マニュアル

品目番号	品目名称	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ	ダンプ荷台が空であることを確認し、外装部品を取外して下さい。 (サイドガード、スペアタイヤ、ツールボックス、リヤフェンダ等)	取扱説明書の安全のために を参照願います。
	事前処理Ⅱ	荷台が下りた状態(走行状態)で作業します。 シリンダとゴムホースの接続部を外し、作動油を抜いて下さい。 オイルパンは油圧機器を取り外すまで用意して置いて下さい。	作動油を受けるための オイルパン等を用意して 下さい。
車両全体	ダンプヒンジ	ダンプヒンジのピン又はシャフトを抜いて下さい。	周囲の安全を確認して 下さい。
車両全体	ダンプ荷台全体	天井クレーンを使用して、ダンプ荷台を水平に吊上げて下さい。	ワイヤ掛けを確実に 行い、安全確認して 下さい。
車両全体	ダンプ荷台降ろし	ダンプ荷台とダンプホイスト機構を降ろして下さい。	クレーン等を使って 安全に注意して下さい。
車両全体	ダンプ ホイスト機構	配管等を外し、ダンプホイスト機構を繋いでいるピン・ボルト等を 外し、ダンプ荷台をシャシから降ろして下さい。	クレーン等を使って 安全に注意して下さい。
車両全体	サブフレーム固縛	本品目は使用していません。	
1	ダンプ荷台	溶断等により裁断し、材質により分別して下さい。	切断ヒューム、粉塵等に 注意して下さい。
2	サブフレーム	本品目は使用していません。	
3	ダンプホイスト機構	ダンプリンクは金属類と樹脂類(ブッシュ)に分別して下さい。	
4	油圧機器	各機器から油を抜いて下さい。 油圧機器(シリンダ、バルブ)は専門業者に委託して適切に処理して 下さい。	オイルパン等を用意して 下さい。
5	配管&ゴムホース	内部残油を抜いて、金属類とゴム類に分別して下さい。	オイルパン等を用意して 下さい。
6	自重計&ホース	内部残油を抜いて、金属類とゴム類に分別して下さい。 (通常、土砂積載車に装着されています。その他については 装着されていない事があります。)	オイルパン等を用意して 下さい。
7	ドライブシャフト	本品目は使用していません。	
8	サブフレーム固縛用 Uボルト等	本品目は使用していません。	
9	リヤフェンダー& マッドガード	金属類とゴム、樹脂類に分別して下さい。	
10	リヤバンパー	取り外し、分別して下さい。 反射器等が付いている時は、金属類と樹脂類に分別して下さい。	
11	サイドガード	取り外し、分別して下さい。	
12	スペア タイヤキャリア	取り外し、分別して下さい。	
13	ツールボックス	取り外し、分別して下さい。	
14	グリス給脂装置	金属類と樹脂類(グリスチューブ)に分別し、グリスとチューブは 適切に処理して下さい。	
15	外装部品	取り外し、分別して下さい。	
16	飛散防止装置	取り外し、金属類とシート類に分別して下さい。 電動モーターが有る場合は配線も分別して下さい。	荷台に溶接取付されている 場合があります。
17	テールゲート等の パッキン	荷こぼれ防止のため、パッキンが装着されている場合は金属類と ゴム、樹脂類に分別して下さい。	パッキンが接着されている 場合があります。
18	天蓋	飛散防止装置のため、手動式、油圧式等の天蓋が付いている 場合は金属類とゴム、樹脂類に分別して下さい。	荷台に溶接取付されている 場合があります。

### 3. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルについてお問い合わせがありましたら下記にて受付け致します。

東邦車輛株式会社 営業本部 業務部 業務課 TEL : 045-575-9901

# 東邦車輛製トレーラ解体マニュアル

適用機種		該当ページ
平床式セミトレーラ	(TF, TE, TH, TJ型)	…P1～P4
コンテナセミトレーラ	(TC型)	…P1～P4
中低床式, 低床式セミトレーラ	(TD, TL型)	…P1～P4
フルトレーラ	(TFF, FF型)	…P1～P4
フルトレーラ	(FF型・煽付)	…P1～P7
ポールトレーラ	(PP型)	…P1～P4

- ・本解体マニュアルは、解体についての指針を示したものであり、本マニュアル通りの解体方法を、強制するものではありません。
- ・本解体マニュアルは一般的な解体例を示し、掲載された図等は実物と異なる場合があります。
- ・上物に架装物(バン(ウイングを含む), タンク, あおり, 幌枠(ダンプを含む)等)がある場合は該当する架装物の解体マニュアルによって先に架装物を解体します。

## 内 容

1. トレーラの構造概要と主要品目表
2. トレーラの解体マニュアル
3. 材料銘板,製作者名表示及び貼付位置
4. お問い合わせ窓口
5. フルトレーラ(FF型・煽付)の煽部分の解体方法

東邦車輛株式会社

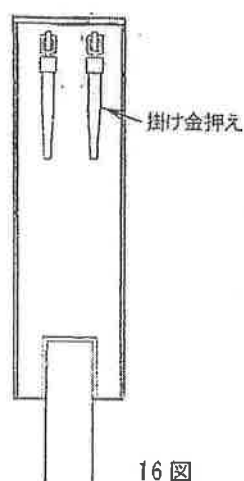
## 2. トレーラの解体マニュアル

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理 I	トラクタから切離し、補助脚、駐車ブレーキ、輪止め等で車両を動かないようにする。	周囲の安全を確認して下さい。燃えやすい物(油脂、紙、木材等)を遠ざけてください。
	事前処理 II	主要な外装部品を取り外す。	
車両全体		ブレーキ系のエアをエアタンクのドレンコックから抜いてください。	
1	床面材	取り外してください。木材が一般的ですが樹脂板を敷いたものもあります。それぞれ分別し専門業者に委託して適切に処理してください。	
2	サイドガード	取り外してください。	
3	工具箱他外装品	同上	
4	ブレーキ配管	金属類とゴム、樹脂類に分別し処理してください。	圧縮空気に注意する。エアタンクのドレンコック等から圧縮空気を抜いてください。
5	ABS装置(配線配管を含む)	同上	
6	灯火器、反射器および配線部品	同上	
7	ハンドブレーキ	取り外してください。	
8	グリス給脂装置	金属類と樹脂類(グリスチューブ)に分別し、グリスとチューブは適切に処理してください。	装置取付けのない車両もあります。
	中間処理 I	次項から補助脚、足回りをフレームから取り外します。ウマ、支柱等で外れることのないよう確実にフレームを支えてください。	クレーン等を使用し安全に注意してください。重量は抹消登録証等の車両重量欄に記載があります。
9	補助脚	取り外してください。	
10	アクスル&タイヤホイール	金属類とゴム、樹脂類に分別し処理してください。	スプリングブレーキチャンバは内部に圧縮コイルバネがあるため分解しないこと。
11	サスペンション	取り外してください。	
	中間処理 II	次項はフレームを裁断します。ウマ、支柱等から下ろし地上で作業してください。	
12	フレーム	溶断等により裁断します。	引火、切断フューム、粉塵等に注意する。

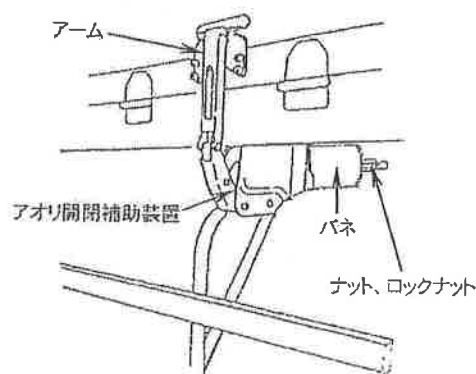
## 5. フルトレーラ(FE型・煽付)の煽部分の解体方法を記す。

### 5-1. 中間柱、ブロック煽の取り外し

- 1) 中間柱は、差し込み材となっておりますので引き抜きます。回転式の中間柱の時は、回転部分のヒンジについているヒンジピンを抜いて取り外します。中間柱に取り付けられている掛け金押え(エビ金具)を取り外します。ボルト締め(M8～M10)又は溶接付けとなっております。(16図参照)  
インパクトレンチ、サンダー、ガス切断機で取り外します。



16 図



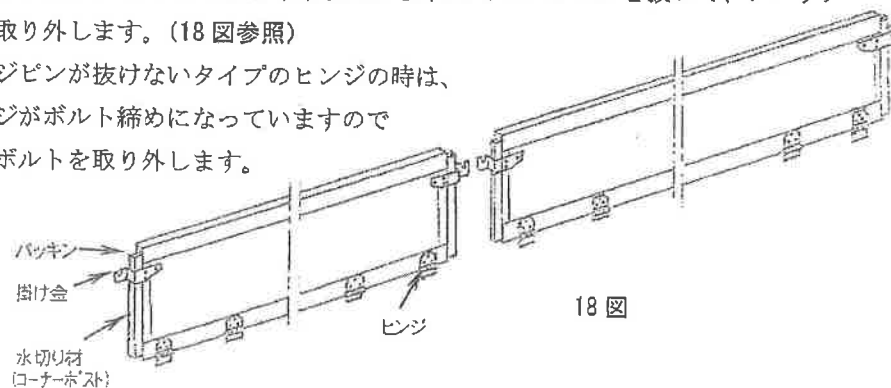
17 図

- 2) アオリ開閉補助装置が取り付けられている車輛

アオリ開閉補助装置のバネ、調整ボルトのロックナット、ナットを完全に緩めバネが働かない状態にしてからアオリ開閉補助装置のアーム側取付けナットを緩めて取り外し願います。この場合アオリ開閉補助装置が働くなり、ブロック煽が倒れる恐れがあるためブロック煽りの掛け金具は掛けておいて下さい。(バネの調整ボルトを緩めずアーム側取付けナットを外すとアームが回転して危険です) アーム側を取外してからアオリ開閉補助装置をとめているボルトを取外します。(17 図参照)

- 3) ブロック煽は、ヒンジで取付けられていますのでヒンジピンを抜いて、ブロック煽を取り外します。(18 図参照)

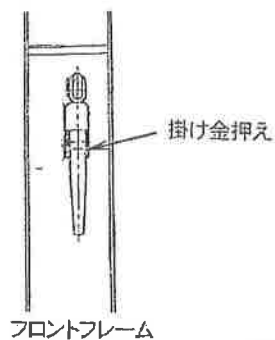
ヒンジピンが抜けないタイプのヒンジの時は、ヒンジがボルト締めになっておりますので締付ボルトを取り外します。



18 図

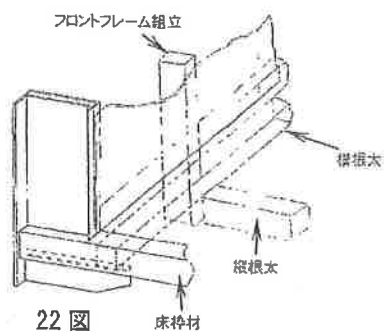
### 5-3. フロントフレームの分解

- 1) フロントフレームの側面に取り付いている掛け金押え(エビ金具)を取り外します。  
ボルト締め(M8~M10)又は溶接付けとなっています。(21図参照)  
インパクトレンチ、サンダー、ガス切断機で取り外します。



21 図

- 2) フロントフレームは、フローアに溶接で取り付けています。  
ガス切断機、プラズマ切断機等で切断し、フロントフレームを取り外します。  
取り外しの際に、適当な長さに切断し、分解します。(22図参照)



22 図